琉球・沖縄 年中行事 なんでも？！ Q&A

火之神のしつらえ方

●Answer
帰依 龍照（きえ りゅうしょう）
沖縄市・コザ山球陽寺住職

Q 娘に子どもが産まれたので、嫁ぎ先で火之神（ヒヌカン）をしつらえる話が出たようです。私には、結婚して子どもがいる息子もおりますが、まだ火之神はありません。火之神は、いつ、どのようにしつらえるといいのでしょうか？ 教えてください。ちなみに、私の家には仏壇はありません。

（那覇市・あら☆ぽちゃこさん）

A 火神の正式な名前は、「荒神（こうじん）」ですが、沖縄では一般的に、「御火之神加那志（ミーヒヌカンガナシー）」とか「火之神（ヒヌカン）」と呼ばれています。先日、私が地鎮祭を担当した3軒のおうちでも、火之神の案内（ウンチケー＝しつらえる方法）について、同様のご質問を受けましたので、まとめてみたいと思います。

【火之神の案内はいつ？】

時期について、沖縄では次のように、いくつかの考え方があります。

❶火之神が天に帰る（昇天する）といわれる「御願解（ウグヮンブトゥチ）」の日から、再びこちらに戻ってくる「火之神御迎（ヒヌカンウンケー）」までの期間に行う方法。御願解は、旧暦12月24日（今年は新暦2月12日）。火之神御迎は、旧暦1月4日（新暦2月22日）です。

❷仏壇・墓がある場合、旧暦7月7日、七夕（たなばた＝新暦8月20日）に行う方法。

❸閏月（ユンヂチ＝旧暦で1年間が13カ月になる年）に行う方法（ちなみに次の閏月は、2017年。旧暦の5月が2回あるとされています）。

❹婚姻・出産・新築などの人生儀礼に合わせて行う方法。

❺前述のタイミングで調整できないときは、旧暦一日・十五日（チータチ・ジューグニチ）以外の日に行う方法、などがあります。

【火之神の案内はどのように？】

次のような手順で執り行うといいでしょう。

❶火之神の香炉は、一代一式（女性の一世代に1セット）が基本とされるので、祖母・実母・義母などから、香炉をゆずり受けることがない限り、新しい火之神の神具一式（香炉と、供物の花、水、酒、塩、米の器）を購入します。

❷神具一式を、海水に見たてた塩水で洗水（せんすい）します。

❸新しい香炉に新しい灰を入れ、その上に、家主の実家の火之神の香炉の灰を、スプーンなどですくって3回に分けて入れます。

（灰は基本的に男性の実家からいただきますが、地域や家庭によっては女性の実家のこともあります。また、実家の灰は、新しい灰の下に入れる地域や家庭もあります。実家に香炉がないときや、事情があって灰をいただけないときは省略します）。

❹火之神の神具一式に、供物を用意します。花瓶（ハナイチー）には、青木（クロトンやチャーギなど）をお供えしましょう。

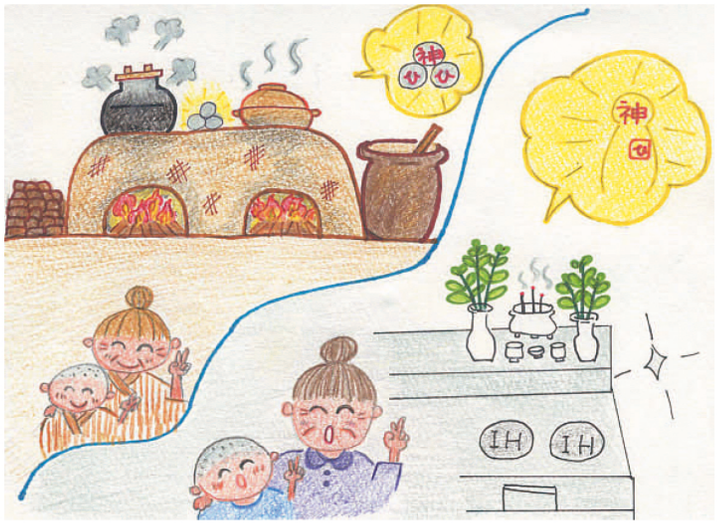
❺火之神の神具一式を台所に設置し、平御香（ヒラウコー）十五本で焼香する初御願（ハチウグヮン）を行います（地域や家庭によっては、十二本での焼香や、三本で焼香することもあります）。

＊＊＊

あら☆ぽちゃこさん、娘さんの出産などでご多忙だと思いますが、よく沖縄の文化を重んじようと思い立たれました。本当に頭の下がる思いです。もし、時間に余裕があるようでしたら、火之神の案内は、沖縄の多くの方が選択される、❶の期間（新暦2月12日～2月22日）に合わせるのがよいかもしれませんね。

これからも、沖縄の年中行事について、タイムリーにお答えさせていただきますので、ご質問をお待ちしています。

「昔は石３つ（ウミチムン）が火の神様だったさぁ～」



イラスト：帰依ひろ子

帰依 龍照 1968年岡山県出身（満47歳）／学歴：岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒／専門分野：哲学（宗教哲学）／沖縄県内で年間多数の起工式（地鎮祭）を担当する／著書：『琉球・沖縄 儀式・法要事典 作法・心得編』県内有名書店にて発売中／薫龍・啓龍・剛龍の三男の父親です。

【質問をお寄せください】 年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は22面をご覧ください。